

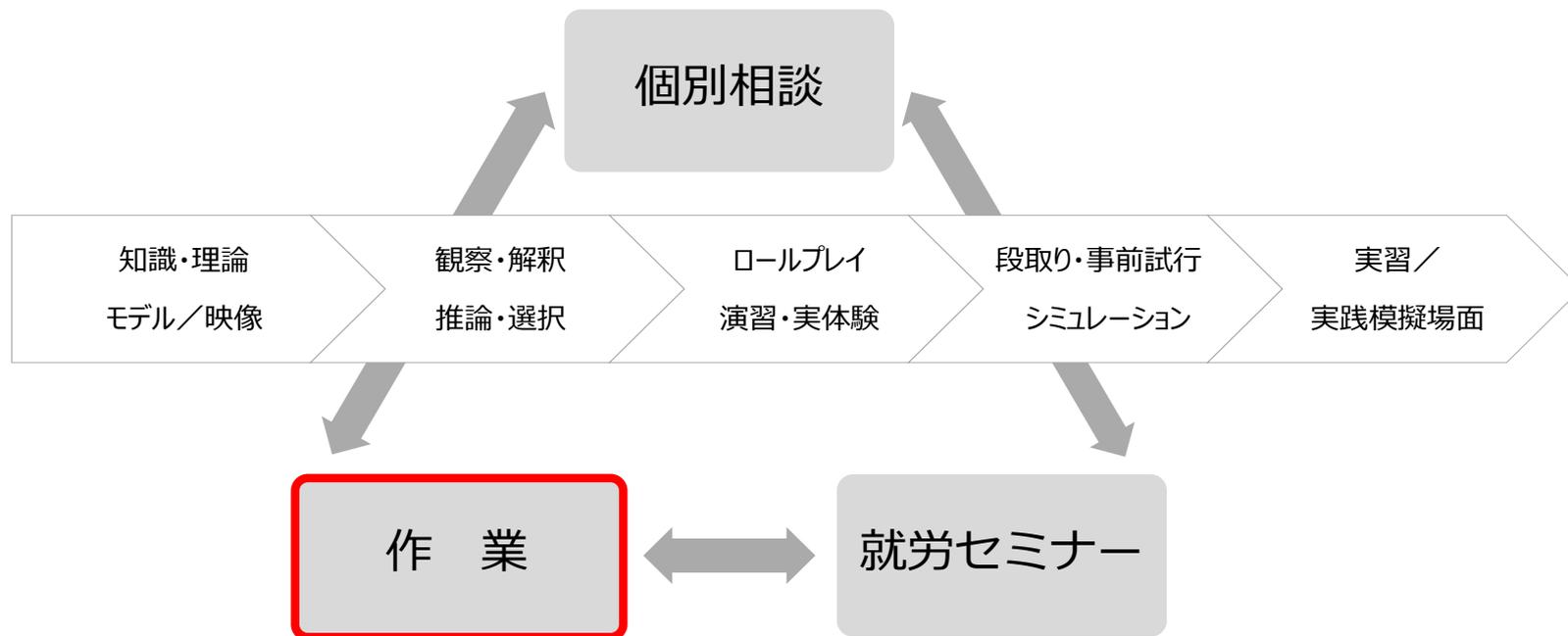
# 在職中又は休職中の発達障害者に対する 作業管理支援の技法開発について

- 西脇 昌宏 (障害者職業総合センター職業センター企画課 障害者職業カウンセラー)
- 森 優紀 (障害者職業総合センター職業センター企画課 障害者職業カウンセラー)
- 松浦 秀紀 (障害者職業総合センター職業センター企画課 障害者職業カウンセラー)

## 目次

- 1 ワークシステム・サポートプログラム (WSSP)の概要
- 2 「作業」の概要
- 3 発達障害者の作業管理の困難さと技法開発の視点
- 4 作業管理支援開発の今後の展開

# 1. ワークシステム・サポートプログラムの概要



- ・ 知的障害の伴わない発達障害者を対象に支援を実施
- ・ 「個別相談」、「作業」、「就労セミナー」を関連づけて実施

## 2. 作業の概要

### ワークシステム・サポートプログラムにおける作業の目的

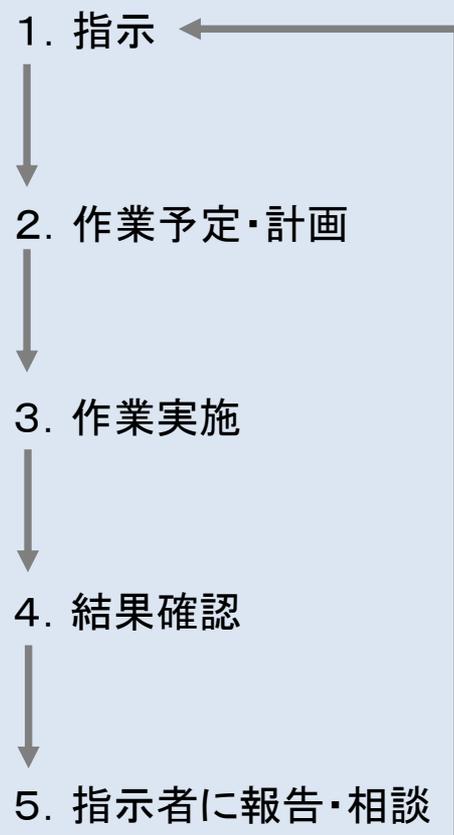
- (1) 受講者の障害特性や職業上の課題に関する詳細なアセスメントの実施
- (2) アセスメント結果に基づいて自己対処の工夫や必要な周囲の配慮事項を検討する

### ワークシステム・サポートプログラムにおける主な作業の種類

ワークサンプル幕張版	その他の作業	民間事業所での職場実習
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務課題 数値チェック、作業日報集計</li> <li>• O/A課題 文書入力、数値入力</li> <li>• 実務課題 ピッキング、プラグタッ プ組立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 商品管理作業 ピッキング、検品、梱包、 請求書作成</li> <li>• データ管理作業 顧客データのチェック、入 力</li> <li>• アンケート分析作業 アンケートのデータ入力、 集計、レポート作成</li> <li>• コンテンツサービス 新聞雑誌の回覧準備作業</li> <li>• 事務文書作成</li> <li>• メモ帳作成</li> <li>• 清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 簡易事務作業</li> <li>• 身体、手腕作業</li> </ul>

# 3-1. 発達障害者の作業管理の困難さと技法開発の視点

## 作業の基本的な流れ

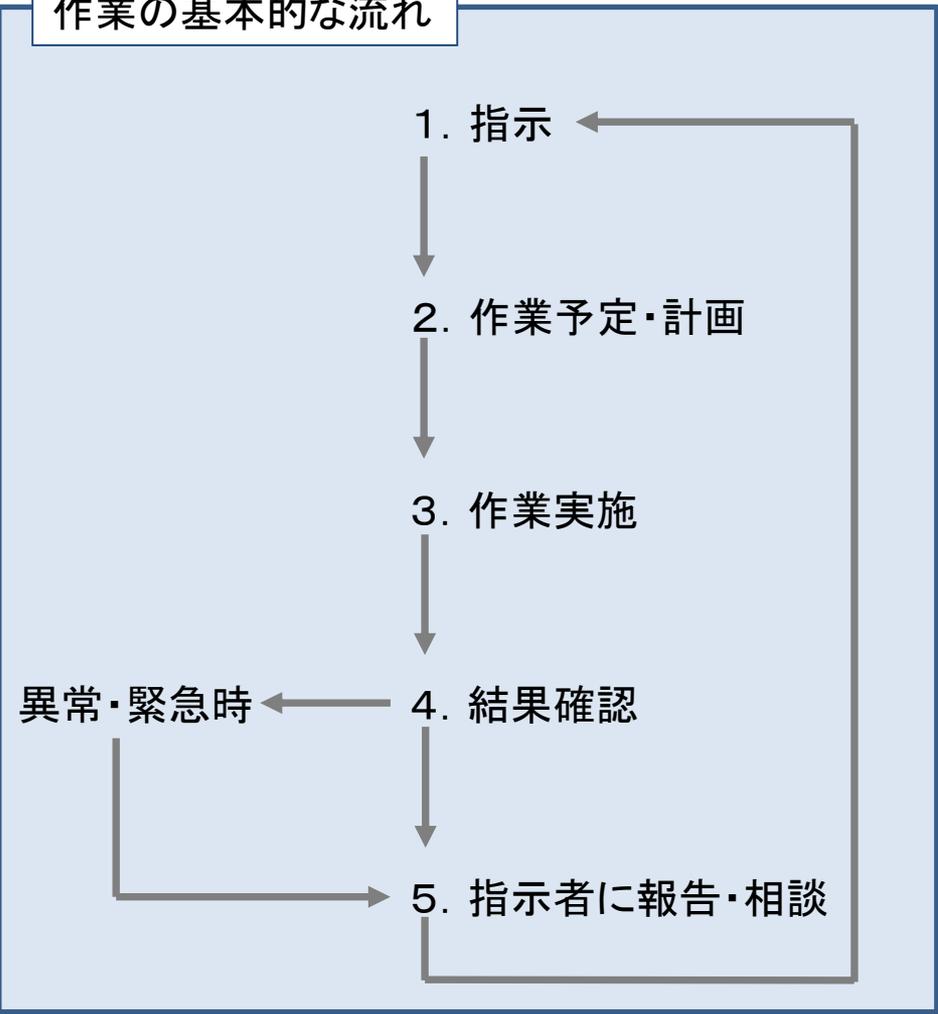


## 作業管理の困難さを示す受講者のエピソード

- 【指示受け】**
  - ・完成形のイメージがずれる
  - ・聞きそびれた内容を自己判断で補う
- 【作業予定・計画】**
  - ・優先順位がつけられない
  - ・タスクを細かい作業に分けて予定に入れられない
- 【作業実施】**
  - ・完成度を追求し時間をかけすぎる
  - ・一つのタスクが終わるまで別タスクに取り組めない
- 【結果確認】**
  - ・タスクが複数になると進捗度合いを正確に把握できなくなる
- 【報告・相談】**
  - ・進捗や時間超過の報告を忘れる
  - ・進捗報告があいまいになりやすい

## 3-2. 発達障害者の作業管理の困難さと技法開発の視点

作業の基本的な流れ



技法開発の視点

作業管理とは、PDCAを意識しながら与えられたタスクを制限時間内に仕上げる一種の課題解決



課題解決を的確に行う機能は何か？



実行機能



実行機能に着目した作業管理支援の開発

「To Doリストにするとできない所が明るみに出て怒られるから可視化したくない」など作業管理を阻害する「認知」の存在にも注目。

## 4. 作業管理支援開発の今後の展開

### ① 作業管理支援の実施状況及び事例の分析

- ・ WSSPにおいて実施してきた作業管理支援の事例集約と実施状況の分析
- ・ アセスメントの視点、効果的な支援策、今後新たに開発が必要なポイントの整理

### ② 作業管理支援に関する情報の収集及び分析

- ・ 発達障害者の作業管理支援に関する国内外の先進的な知見の情報収集

### ③ 試行モデルの試作と検証

- ・ ①、②の結果を踏まえ、複数のタスク管理や1日で終わらない作業管理に必要な能力、スキルのアセスメントの枠組み、作業管理において効果的な支援策、アセスメント及び対処法の実践が可能な作業課題という3点で試行モデルを作成・検証する。

### ④ 実践報告書の作成

- ・ 新たに開発した作業管理支援の概要、実施方法、実施結果、支援事例及び留意事項を取りまとめる。